



National
Institute of
Technology,
Kumamoto
College
Yatsushiro
Campus Alumni
Association

熊本高等専門学校八代キャンパス 楷友会会報

After 5

Vol. 30
2022.10.

Official Homepage ▶ <https://after5.y.kumamoto-nct.ac.jp/>

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627〔熊本高専八代キャンパス内〕 Tel 0965-53-1211 Fax 0965-53-1219 E-mail after5@kumamoto-nct.ac.jp

八代高専同窓会の皆様へ

熊本高専八代キャンパス同窓会楷友会会長 亀田 英雄



八代高専同窓会、楷友会の皆様におかれましては御健勝のこととお慶び申し上げます。平素より同窓会の活動につきまして御理解を賜り、御協力を頂いていることに対しまして厚く御礼申し上げます。

我が八代高専は高専としては後発設置ではありましたものの、三期生の私が一昨年還暦でしたし、学校が創立されて間もなく50年になろうとしています。半世紀という途方もない時間が過ぎようとしています。高専で過ごした青春時代は私の人生において珠玉のものです。一生懸命になったサッカー、年四回の広範囲で難解な試験、五年間の寮生活、卒業研究等、どれもこれも昨日の出来事ですらあり、良き思い出です。

また、同級生はかけがえのない友として宝としてありますし、先輩、後輩とも近年濃い御付き合いをさせてもらっています。

八代高専で学び、経験した様々な出来事が私を形作ってくれたと感謝しています。

1Eの小橋さんから引き継いだ同窓会の会長も20年間の長きになりました。この間支えてくれた役員の方には感謝しかありません。様々なアイデアをもって同窓会活動を盛り上げ、実のあるものとして実行してくれました。

すっかり八代高専のお家芸となったロボコンの応援では、手に汗を握る緊張の中で全国大会優勝の感動を味わいました。

学校の応援団としての同窓会として活動してきましたが、八代高専出身として誇りが持てるようにとの思いが常にありました。

学校におきましては、電波高専との高度化再編を経て熊本高専と名前が変わるといってもありましたし、時代の求めに応じて様々な変遷があったようです。

初代清田校長は、30年を過ぎたころから樹勢を増すとされる「楷の木」に学校の発展の想いを重ねました。

時折キャンパスを訪ねるとき、まさに思い描かれた通りになってきていると仰ぎ見ます。先達の思い描かれたことが時代の波にもまれながらも脈々と受け継がれ、着実に実をつけ、勢いを増してきていると嬉しく思います。

一昨年からの新型コロナウイルス感染症の流行で、学校との関係も薄くなりがちで寂しい思いです。同窓会活動もままなりません。学校への想いは変わるものではありません。

これからもこれまでと変わらぬ同窓会活動に努めていきたいと思っていますので、皆様にはこれまで通りのご支援、強力なお力添えを頂きますようお願い申し上げますとともに、何卒ご自愛いただき、ますますご活躍されますように祈念致します。

新任のご挨拶

熊本高専校長 高松 洋



令和4年4月1日付で熊本高等専門学校の校長に着任しました高松洋と申します。前校長の荒木先生と同様、九州大学を定年1年前に辞めて熊本に赴任いたしました。37年間の九州大学でのキャリアの前半を研究所（主として機能物質科学研究所）で過ごし、後半は工学部・大学院工学研究院で教授として勤めておりました。

専門は機械工学、中でも熱工学です。初めは主として沸騰や凝縮などの相変化を伴う熱伝達の研究を行っていましたが、米国での在外研究をきっかけに40歳ごろから生体工学・生体熱工学に関する研究も行い、研究内容がキャリアの前半と後半で大きく異なっていることが特徴です。また、ずっと九大に在りながら、学生、助手、助教授、教授として在籍した研究室がすべて異なるのも珍しい点だと思います。教育に関しても、大学院総合理工学専攻の熱エネルギーシステム工学専攻や環境エネルギー工学専攻、システム生命科学専攻、工学府機械工学専攻など、様々な組織を担当した経験があります。そして、2015年から3年間

大学院工学研究院長・工学部長、その後2年半副学長を務めた経験もあり、これらの経験が、校長に就任させていただいたことにつながっていると思っています。

皆さんご存じのとおり、今、熊本ではTSMCの進出を機にシリコンアイランド九州の復活の機運が高まっており、我が熊本高専にも半導体人材育成の旗手としての役割が期待されています。そのような半導体嵐の真ただ中に突然、身を置くことになり始めは戸惑っていましたが、様々な省庁や自治体、企業の方と話をさせていただく機会も多く、皆さんの期待を感じるとともに、それに応える責任を感じています。高専への期待は、卒業生の皆様のこれまでの実績があったからであることは間違いありません。また、高専の人の育て方はこれからの時代にもマッチしたものであると感じています。その伝統を大事にしつつ、時代の要請に応じていくことが重要だと思っています。着任して3か月が経ち、やっと二つのキャンパスへの通勤や高専の文化や運営にも慣れてきました。熊本高専のさらなる発展に少しでもお役に立てればと思っております。引き続き、同窓会の皆様のご協力をこころよりお願い申し上げます。

同窓生だより

Dousousei-Dayori

サイバーセキュリティ人材求む！

E23 谷崎 雄宇

私は、熊本県警察本部にあるサイバー犯罪対策課に勤務している警察官です。

平成13年、本校を卒業し、山口大学工学部知能情報システム工学科に編入、卒業して三菱電機エンジニアリング株式会社で約6年間システムエンジニアとして、社内向け業務アプリケーションやディスプレイに広告映像を表示するデジタルサイネージ、工場向けの監視システム等の開発に携わってきました。

福岡県で5年、和歌山県で1年同社で社員として勤務していましたが、故郷の熊本が恋しくなりUターン転職し、本県警察官を平成21年に拝命して、かれこれ13年目になります。

21年ぶりに母校を訪れ、恩師の湯治先生や小島先生、藤本先生と再会し、同窓会会報誌に寄稿する運びとなりました。

母校に訪れた理由、それは、高校生サイバー防犯ボランティア「サイバーインフィニティズR01」の「情報モラル・セキュリティ」に関する啓発動画の作成依頼と警察官サイバー特別枠採用の案内のためです。熊本高専八代キャンパスも「サイバーインフィニティズR01」に加盟し、昨年も動画を作成して頂いております。詳しくは県警HPをご覧ください。

サイバー犯罪対策課では、インターネット空間で発生する犯罪捜査、地域住民や県内企業、教育機関等に対する防犯対策の講話活動等を通じて、安全安心なインターネット空間の確保のため日々邁進しています。

私の業務の担当は、高校生や大学生の防犯ボランティア活動の支援やサイバーセキュリティ対策、サイバー犯罪捜査に従事する捜査員の人材育成の仕事に携わっています。

高専時代まさか自分が警察官になるとは想像もしていま



んでしたが、小学生の頃から、シャーロックホームズやアルセーヌルパン、江戸川乱歩などの推理小説を読みあさっていたこともあり、犯罪捜査に興味があり、転職当時、振り込め詐欺の犯人を捜査して捕まえたいという強い正義感を持って、警察官を志望し、現在に至ります。

サイバー犯罪対策課の仕事は、情報技術力と捜査力との両輪のバランスが重要であり、高専で培った情報系の専門的知識が今も活かされています。

高専では、「K-SEC (KOSEN Security Educational Community)」というサイバーセキュリティ人材育成事業を推進しているとお聞きしております。

もし、学生の方でサイバー犯罪捜査に興味がある、または、Uターンで専門的知識や技術を活かして、警察官になりたいというあなた！是非連絡お待ちしております。

最後に、在学中にお世話になった先生方、卒業生の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念しまして、結びといたします。

学科近況

卒業生のみなさまには、キャリア研修、現場見学、研究協力、学生への設計指導、地域社会における実践的な課題提供など、多岐にわたるご支援を頂いています。学科スタッフ一同、感謝申し上げます。

さて「シアワセのありかをつくる」をキャッチフレーズに、土木建築工学科から建築社会デザイン工学科に生まれ変わったのは2010年のこと。それからさらに新カリキュラムに移行して、現在は建築学を中心に土木工学などの周辺分野も学べる学科になっています。これは学科のスタンスとしては大きな変革と言えます。ただ選択科目の選択によっては十分に土木工学を学習することができ、土木分野へ進路をとることも可能です。

新カリキュラムをはじめ、さまざまな変革に我々スタッフが十分に対応できているとは言えませんが、これが熊本高専だ、と言える学科を学生と一緒につくっていかうと取り組んでいるところです。

その学生のがんばりは数多くの場面で発揮されています。まず全国高専デザインコンペティション（デザコン）でのここ10年間の成果を紹介します。これまで空間デザイン部門を中心に多くの学生たちが応募し、毎年、百数十点の応募作品から予選を通過、本選へ出場してきました。このうち全国ベスト5にあたる審査員特別賞を3回、ベスト3にあたる優秀賞を3回、さらに全国1位にあたる最優秀賞は昨年度での受賞を含め合計3回受賞してきました。惜しくも本選出場を逃したものも含め、それらはグループワークの難しさにぶつかりながらも、丹念に地域の調査を重ね、地域の方の思いを組むように配慮し、地域の魅力を引き出すことに努めた秀作です。Japan Steel Bridge Competition（ブリコン）でも優勝や準優勝を経験し、今年度は特別賞を受賞しました。

地域での様々なプロジェクトにも取り組んでいます。そのなかでも近年の取り組みとして令和2年7月豪雨からの復旧・復興プロジェクトが挙げられます。学科では関連する分野の先生方により「令和2年7月豪雨」対応チームを結成し、河川、地盤、橋梁、建築といった分野ごとの調査成果を情報共有して取り組んできました。私は学生らとともに、八代市坂本町を中心として被災した歴史的建造物・民家の調査や、泥出しから修復工事までの作業、復興提案に至るまで取り組んでいます。学生らが進んで被災地へ行くことを望んでくれたことが印象的です。

コロナ禍により、十分に学生の様子を見守ることができない日々が続いてきましたが、今後はこの災禍でこそ得たツールも活用し、より豊かな学びの場を築いていきます。

卒業生のみなさまには引き続き、後輩たちへのご支援を何卒よろしくお願ひします。また学校にもぜひお立ち寄りください。

末筆ではありますが、岩部先生が昨年末、永眠されましたことをここに報告させていただきます。岩部先生の学生を見守るあたたかな姿勢を、本学科の大切な遺産と思い、継承していきたいと考えています。

建築社会デザイン工学科教員一覧

教授	浦野登志雄
	下田 貞幸（高専機構併任）
	岩坪 要
	森山 学
准教授	上久保祐志
	橋本 淳也
	勝野 幸司
	後藤 勝彦
助教	松家 武樹
	森下 功啓
	川口 彩希
	脇中 康太



卒業生に講評頂くクライマックス講評会



デザコン2021最優秀賞チーム



卒業生に説明頂いた見学会



被災地での復旧作業

教職員だより

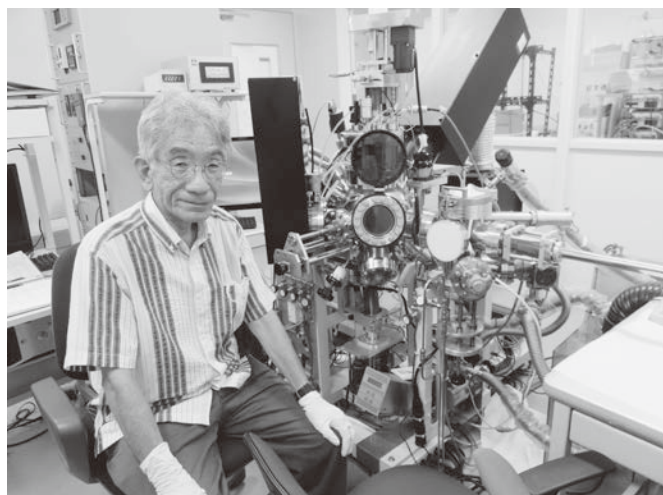
Kyosyokuin-Dayori

定年退職後の近況報告

元 生産システム工学系 AP-Gr 教授 木場 信一郎

楷友会の皆様には、ご健勝のことと拝察いたします。今年7月初め頃に、この同窓会会報誌への寄稿のお話があり、テーマは設けず何でもどうぞということでしたが、逆に何でもと言われるとなかなか作文もままならず締め切りが目前に迫ったので、シンプルに退職の挨拶をかねて近況報告とさせていただきます。

さて、令和元年度で熊本高専八代キャンパス教員を定年退職し、その後2年間の再雇用を終え、令和4年3月でいよいよ高齢雇用保険受給資格者となりました。5月に離職票をいただき、ハローワークで高齢者求職手続きなどを済ませて、まだ常勤としての職にはありつけないまま約2ヵ月が過ぎようとしています。現在は、非常勤として、八代キャンパスにお世話になっています。また、令和4年度科研費採択による特命客員教授として、週3日は手弁当で、主に研究活動のためキャンパス内で研究室を行ったり来たりしながら、主に専攻科の学生と研究を進めております。その傍ら週3日午後2時間ほど部活指導員として非常勤に従事しております。今年、後期より講師として機械知能システム4年生の「電子回路II」と専攻科の「技術倫理」の授業を担当しながらの勤務となる予定です。最近の半導体生産拠点誘致の話にあるように、しばらくは半導体産業への拡充投資が続くようです。担当する科目群に半導体技術の基礎を扱える科目が増えてこないものかと気にしているところです。以前情報電子・機械知能で担当した科目群（「集積回路、電子デバイス」、「電子回



路、電子回路II」)が、これに近い内容を多かれ少なかれ含んでいたことを情報電子、機械知能卒のみなさんの中には、覚えていらっしゃる方がいるかもしれませんね。まだまだ、諸々思うようにゆかず、老後の悠々自適とは程遠く、ハローワークしなければなりません。ジタバタしながら何とか乗り切れればと思っています。

概ね毎日八代キャンパスの専門棟1の3階をキャンパスワークの仕事場として、廊下をウロチョロしていますので、本校お寄りの際には、お声かけくだされば幸甚に存じます。

では末筆ではありますが、皆さまのますますのご健康とご活躍をお祈りいたします。

< 令和3年度教員人事異動 >

発令年月日	内容	氏名	異動前の職名	異動後の役職
令和3年9月1日	雇用期間満了退職	吉海 雄大	生産システム工学系ACグループ助教	
令和4年3月31日	定年退職	荒木啓二郎	校長	
令和4年4月1日	再雇用期間満了退職	田浦 昌純	生産システム工学系BCグループ嘱託教授	
同上	再雇用期間満了退職	木場信一郎	生産システム工学系APグループ嘱託教授	
同上	新規採用	高松 洋	九州大学大学院工学研究院教授	校長

令和3年度 新クラス幹事紹介



MI科 幹事 第8期 平川 史也

同窓会の皆様はじめまして。

この度、機械知能システム工学科第8期クラス幹事になりました、平川史也です。皆様いかがお過ごしでしょうか。私は卒業後、応用電機株式会社に就職しました。職場では先輩方に仕事や社会人として必要な事を教わりながら様々なことを学び、充実した日々を過ごしております。

卒業して数か月が経った今、5年間同じ教室で学び、苦楽を共にした仲間たちとの交流も少なくなり寂しさを感じます。そこで同窓会として仲間たちとの交流場を作れるよう、頑張りますのでよろしくお願い致します。



AC科 幹事 第8期 菊川 翔登

同窓会の皆様はじめまして。この度、建築社会デザイン工学科のクラス幹事になりました、菊川翔登です。卒業後、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。私は卒業後、愛知県にある豊橋技術科学大学へ編入し、日々の課題に追われながらも楽しく頑張っています。また、初めての県外、初めての一人暮らしと、初めてづくしで行くまで心配していましたが、どうかこうにか暮らせています。

高専を卒業し、進学・就職等でバラバラになって改めて気づきましたが、最強メンバーだったなと思っています。社会の状況を加味しつつ、そんなメンバーとのつながりを大切にするためにも、こまめに連絡を取り、同窓会が開けるように準備していきたいと思っております。クラス幹事として精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



BC科 幹事 第8期 新山 涼太

同窓会の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、生物化学システム工学科第8期クラス幹事となりました、新山涼太と申します。私は本科卒業後、専攻科に進学致しました。専攻科では昨年に引き続き、令和2年から流行している新型コロナウイルスの影響に縛られながら学生生活を送っております。本科4年時には遠隔での授業が半数を超え、また、研修旅行も中止となりました。そのような状況の中でも、私たちのクラスは互いに励まし合い成長してまいりました。卒業した今でも、それぞれがSNSなどを通じてコミュニケーションを取っているようです。5年間を共に過ごしたクラスの絆が今となっても絶えず残っていることが分かり、仲間の大切さを改めて感じました。卒業後もなお、相互の親睦を図り、この大切な絆を一層深めて参りたいと思っております。クラス幹事として皆様のご期待に応えられる様に尽力して参りたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

Gakuseikai

学生会だより

Dayori



熊本高専八代キャンパス
学生会会長

4年 坂口 慧飛

同窓会のみなさま、はじめまして。令和4年度学生会長を務めさせていただきます。4年生物化学システム工学科の坂口慧飛（サカグチケイト）と申します。よろしくお願い致します。

私は2年生の頃から学生会に入り、毎年局を移動し色々な経験を積み重ねてもらい今年度学生会会長を務めています。今までは先輩方が引っ張ってくれており、言われるがままに活動していました。いざ自分たちが後輩を引っ張っていく立場になると上手いかわからないことも多く、先輩方の偉大さを身に染みて感じているところです。今年度も前期が終了し、学生総会や球技大会等を学生会役員一丸となり無事やり遂げることができました。また、球技大会においては新型コロナウイルス感染拡大防止のため全学生への体温管理、こまめな消毒、競技者以外のマスクの徹底を行った結果、クラスターの発生を防ぐことができました。後期には我が校の一大イベントであ

る高専祭を控えております。新型コロナウイルス感染対策を徹底し、クラブバザーの実施や外部の受け入れを行い例年通りの高専祭を開催する方向で学生会役員一同頑張っております。例年通りの高専祭が開催できましたら、ぜひ卒業生の方々や保護者の方々に足を運んでいただけたらと思っております。例年通りに高専祭を開催できるかもしれないという学生としてのわくわくと、クラスターが発生しないかという学生会会長としての不安が入り混じっていますが、この状況を楽しんで活動しております。

最後になりますが、学生会は学生がしたいことを最大限に手助けし実現を目指す組織であり、主役は学生会役員ではなく学生全員です。縁の下の力持ちになり熊本高専を活気のある学校にしていきたいと思っております。そのためにも学生会会長として学生会役員として可能なことは全力を尽くしていきます。皆様も暖かい目で応援していただくと幸いです。1年間よろしくお願い致します。

令和4(2022)年度同窓会及び学校行事

6月3～6日	高校総体熊本県大会
6月25～26日、 7月1～25日	九州沖縄地区高専体育大会
8月6日	くま川まつり
8月19～9月4日	全国高専体育大会
10月15～16日	全国プログラミングコンテスト (群馬)
10月30日	ロボコン九州沖縄地区大会 (合志市総合センター ヴィーブル)
10月28～31日	高専祭
11月12～15日	ラグビー九州沖縄地区高専体育大会
11月27日	ロボコン全国大会 (国技館)
12月10～11日	全国高等専門学校デザインコンペティション (有明)
令和5年(2023) 3月23日	卒業式 修了式

2022年度大会等会場案内

今後変更になる可能性があります。詳細は大会ホームページ等でご確認ください

【ロボットコンテスト】

	期日	会場	
九州地区大会	10/30	合志市総合センター ヴィーブル	熊本高専熊本キャンパス
全国大会	11/27	国技館	東京都墨田区

【プログラミングコンテスト】

	期日	会場	
予選	6/25	都立産業技術高専品川キャンパス	東京都品川区
本選	10/15～16	Gメッセ群馬	群馬県

【デザインコンペティション】

	期日	会場	
本選	12/10～11	大牟田文化会館	福岡県大牟田市

(1) 同窓会記念行事積立金 合計 7,922,653 円
 ◎積立金1 (定期預金口座) 4,523,142 円
 内訳: 4,523,064 (前年度) + 78 (定期利息) = 4,523,142

◎積立金2 (普通預金口座) 3,399,511 円
 内訳: 2,899,511 (前年度) + 500,000 (R3度積立金) = 3,399,511

(2) 事務局収支決算

◆収入の部

項目	予算額(円)	収入額(円)	備考
前年度繰越金	230,599	230,599	令和2年度(2020年度)より
入会金	1,290,000	1,290,000	入会金: 10,000円 令和3年度入学生 (129名)
年会費	1,500,000	1,464,600	口座自動引落 (1,800円×267名), コンビニ郵便振込 (2,000円×370名), PayPal (2,000円×5名), 令和3 年度卒業生 (2,000円×117名)
寄附金	0	35,000	OB (M17 田原 滋則 様, E9 内田 裕幸 様)
預金利息	20	22	普通預金利息
積立金戻入れ	0	0	
その他	0	0	
計	3,020,619	3,020,221	

◆支出の部

項目	予算額(円)	支出額(円)	備考
事務手当	250,000	250,000	
事務費	400,000	251,767	Facebook管理, サーバ運営費, 振 込手数料等
通信費	370,000	378,570	会報誌送付, 切手代
会議費	200,000	0	コロナ禍で中止またはリモート開催
会報誌印刷費	700,000	607,279	PDF配布により経費削減
くま川祭り諸経費	0	0	コロナ禍で中止
母校後援費	300,000	379,923	ロボコン支援, 熊本高専八代C図書館 へ書籍62冊寄贈
同窓会PR活動費	70,000	66,980	卒業生紅白求肥贈呈, オープンキャン パスポスター副賞
会員名簿発行費	400,000	327,000	R2年度卒業生109名に進呈
支部活動後援費	100,000	0	コロナ禍で支部活動縮小
積立金	0	500,000	積立金2へ
予備費	230,619	0	
次年度繰越金	-	258,702	令和4年度(2022年度)へ
計	3,020,619	3,020,221	

令和3年度会計報告

◆収入の部

項目	今年度 予算額(円)	前年度 予算額(円)	増減	備考
前年度繰越金	258,702	230,599	28,103	2021年度 (令和3年度)より
入会金	1,290,000	1,290,000	0	2022年度入学生 (新1年生128名, 4年編 入1名)
年会費	1,400,000	1,500,000	-100,000	
募金受入	0	0	0	
預金利息	20	20	0	
雑収入	0	0	0	
積立金戻入れ	0	0	0	
計	2,948,722	3,020,619	-71,897	

◆支出の部

項目	今年度 予算額(円)	前年度 予算額(円)	増減	備考
事務手当	250,000	250,000	0	
事務費	350,000	400,000	-50,000	Facebook管理, サーバ 運営, 振込手数料等
通信費	400,000	370,000	30,000	会員数増加のため
会議費	200,000	200,000	0	
会報誌印刷費	700,000	700,000	0	PDF配布による経費削 減など
くま川祭り諸経費	0	0	0	コロナ禍により不参加 を予定
母校後援費	300,000	300,000	0	部活支援, 学生支援等
大同窓会運営費	0	0	0	次回は2024年1月開催予定
同窓会PR活動費	70,000	70,000	0	卒業生への紅白求肥贈 呈等
会員名簿発行費	351,000	400,000	-49,000	2022年度(R4年度)卒 業生へ進呈 (117名)
支部活動後援費	100,000	100,000	0	関東楳友会, 関西楳友会
積立金	0	0	0	
予備費	227,722	230,619	-2,897	
計	2,948,722	3,020,619	-71,897	

令和4年度予算案

2022年度 大会成績一覧表

九州地区・西日本地区大会

【第59回九州沖縄地区高専体育大会】

■陸上

男子110mH 3位 星田琥太郎

■卓球

男子シングルス 準優勝 橋本 拓未
3位 坂口 智也
3位 桑原 愛翔
男子ダブルス 3位 橋本 拓未、坂口 智也
女子ダブルス 優勝 光永 愛実、勇 滯里

■水泳

男子100m自由形 準優勝 渡並 俊介
男子800m自由形 優勝 渡並 俊介
女子100m平泳ぎ 3位 進 楓

女子200m個人メドレー 3位 進 楓

■バドミントン

男子団体 3位 田上 梨緒
長 蓮生
坊村 希龍
ムゲン グナセカラン
富田悠一朗
梅木 心
安達 琢真
メ 亮吾
女子団体 優勝 沖田 梓帆
中島 朝陽
永井 天那
竹下ほのか
小森田夏実
西村 羽誕
渡邊 莉奈
坂口 奈々

女子シングルス 優勝 竹下ほのか
3位 坂口 奈々
3位 沖田 梓帆
女子ダブルス 優勝 竹下ほのか、小森田夏実
準優勝 沖田 梓帆、中島 朝陽

■バレーボール 女子

3位

■柔道 男子 81kg級

3位 古閑 柊平

■ソフトテニス 男子ダブルス

3位 中原 希祐、寺前 稜士

令和3年度 本科卒業生・専攻科修了生 進路先一覧

本科卒業生就職先一覧

【機械知能システム工学科】

JNC
YKKAP
アイリスオーヤマ
応用電機
オークマ
ガスエンジニアリング九州
カラビナテクノロジー
シマノ
トーテックアメニティ
西島製作所
西崎通信建設
パナソニックアプライアンス社
三井ハイテック
三井三池製作所
明電舎
名南製作所
ルーム・アポロ

【建築社会デザイン工学科】

NECファシリティーズ
NTTインフラネット（2名）
鹿島クレス
建装工業（2名）
国土交通省九州地方整備局
住友不動産
住友林業
太平洋コンサルタント

東海旅客鉄道（JR東海）
東洋建設（2名）
戸田建設
西日本高速道エンジニアリング九州
西日本高速道路
西日本高速道路ファシリティーズ
日本港湾コンサルタント
日本ピーエス（2名）
ニュージェック
パシコン技術管理
松尾建設
三井住友建設
三菱地所コミュニティ
村上建設
八代市

【生物化学システム工学科】

DIC
ENEOS（3名）
KMバイオロジクス（2名）
P&G
キリンビール
第一三共ケミカルファーマ
第一三共プロファーマ
大日精化工業
中外製薬工業（2名）
日本触媒（2名）
日本マイクロバイオファーマ
不二製油
マツイカガク

三井化学
三井化学分析センター

本科卒業生進学先一覧

【機械知能システム工学科】

鹿児島大学
島根大学
九州デザイナー学院九州校
熊本高専専攻科（19名）

【建築社会デザイン工学科】

鹿児島大学
熊本大学（2名）
豊橋技術科学大学
熊本高等専門学校専攻科（7名）

【生物化学システム工学科】

豊橋技術科学大学（2名）
熊本大学（2名）
東京農工大学
九州大学
長岡技術科学大学（2名）
鹿児島大学
熊本高専専攻科（6名）

専攻科修了生就職先一覧

ENEOS
Lib Work

NTTファシリティーズ九州
アーキサイト
イリア
宇宙技術開発
エム・エムブリッジ
応用電機
オートテックジャパン
熊本県
建設プロジェクトセンター
住友不動産
トーテックアメニティ（2名）
日本触媒
ニュージェック
富士フィルムビジネスイノベーションジャパン
藤本和想建築
三菱地所コミュニティ
三菱地所レジデンス
安川電機
八代市

専攻科修了生進学先一覧

筑波大学大学院
広島大学大学院

◆卒期・卒業年対応表

卒業年	S54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27		H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
卒 M,E,C	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37									
期 B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	-	MI,AC,BC	1	2	3	4	5	6	7	8

※新学科（MI,AC,BC）の卒期を旧学科（M,C,B）の卒期（通し）に換算する場合は、新学科卒期に36（MI,AC）または21（BC）を足す。

事務局からのお知らせ

学生支援基金への寄付募集

平成20年度に同窓会予算（予備費）の30万円を運営資金として学生支援基金を立ち上げました。これは進級・卒業を目指す学生が、不測の事態のために、授業料未納で退学となることを避ける目的で、保護者に一時的に無利子で授業料の一部（上限10万円（3年以下は5万円）まで）を貸与する学生支援の一つです。昨年度の申請はありませんでしたが、長引く新型コロナウイルス関連や物価高騰における経済的ダメージが予想されます。この学生支援基金は、卒業生からの寄付金によって運用することになっており、当初の目標額は既に集まりましたが、更なる学生支援の拡充を目指して、引き続き寄付を募集しております。令和3年度以降は、C1期の倉本健一様、E9期の内田裕幸様、M17期の田原滋則様より心温まる寄付を頂きました。誠にありがとうございました。寄付金の額は設定しておりませんので、少額でも受け付けております。基金専用の銀行口座を開設しておりますので、お手数ですが最寄りの銀行よりお振込をお願いいたします。通信欄にお名前、学科・卒期（MECB、MI、AC、BC〇期）等をお書きください。次回のAfter5で寄付して頂いた方のお名前のみを掲載させていただきます。

肥後銀行 八代支店
普通 1927007
熊本高専八代キャンパス同窓会「楷友会」学生支援基金
出納担当 尾方富美代

会報誌のPDF版について

会報誌のPDF版を同窓会web上で閲覧できます。

<https://after5.y.kumamoto-nct.ac.jp>
ID : yncftafter5 PW : S4ppNh



楷友会 Web

住所変更手続きのお願い

引越等で住所を変更された方は、忘れずに同窓会事務局へのご連絡をお願いいたします。

変更は、電子メール after5@kumamoto-nct.ac.jp にて受け付けております。卒期または卒業年・学科・お名前・現住所をご記載ください。なお、受付の際に本人確認を行いますので、ご了承ください。

年会費について

年会費(2,000円)の徴収についてご理解とご協力をお願い

同窓会の運営は会員の皆様からの会費で賄われております。年会費の徴収にご理解とご協力をお願い申し上げます。年会費の納入方法は次の4種類の方法があります。

①郵便局・コンビニ振込

同封の振込用紙にて、全国の郵便局およびコンビニエンスストアで振り込めます。

②口座自動引落し

お持ちのゆうちょ口座や銀行口座より、毎年12月中に自動的に引落します。この方法を利用されますと、銀行に振り込みに行く手間が省けますし、さらに特典として年会費が1,800円になります。

③PayPal（ネット決済）

PayPalによるネット決済ができます。楷友会のホームページ最下行の「年会費窓口」からPayPal決済ページにお進みください。（<https://after5.y.kumamoto-nct.ac.jp>）

④LINE Pay（電子マネー）

LINE Payが利用できるようになりました。LINE Payアプリのコードリーダーで振込用紙のバーコードを読み込んでお支払いください。

【連絡事項】

- 1) 会報誌に年会費2,000円の振込用紙が同封されていない方は、3月卒業生ですすでに納入済みか、今年12月に引き落とし予定の口座自動引落としの方です。
- 2) ②の口座自動引落しを希望される方は、事務局に電話かメールにて「年会費を自動引落しにする」とご連絡下さい。手続きに必要な書類を発送します。
- 3) 口座自動引落の手続きをされている方で、転勤などにより登録された銀行が変更になり、お引き落としができない方がいらっしゃいます。ご連絡いただければ書類をお送りしますので、新しい口座のお手続きをお願いいたします。

編集

Editor's Note

後記

今回もご投稿いただいた皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。今回は諸般の事情により発行が遅れましたこと、お詫びいたします。現在、八代キャンパスでは図書館および生物棟の改修工事がおこなわれ、来年春にはリニューアル予定です。本キャンパスにお越しの際は、ぜひ新しくなった建物をご覧いただければと思います。

(吉永)